



J. FRONT RETAILING

2012年 5月15日

会社名 J.フロント リテイリング株式会社
 コード番号 3086
 代表者名 代表取締役会長兼最高経営責任者
 奥田 務
 お問合せ先 経営計画事業統括部
 グループ広報・IR担当
 TEL 03-6895-0178

2012年4月度 J.フロント リテイリング 連結営業報告

1. セグメント別売上高（対前年増減率：％）

	4月度	3～4月度累計
百貨店事業	1.8 (2.6)	5.7 (6.4)
スーパーマーケット事業	▲7.4	▲11.7
卸売事業	▲17.8	▲8.6
クレジット事業	8.0	9.1
その他事業	▲17.8	3.8
連結合計	0.0	3.3

(注) 百貨店業合計の()内は博多大丸長崎店(2011年7月31日営業終了)を除く既存店ベース。

2. 売上高概況

1) 百貨店事業

- ・4月度の百貨店事業の売上高は、婦人ワンピース、ブラウスや紳士ジャケット、パンツなど春から初夏に向けてのファッション衣料雑貨が活発に動き、ラグジュアリーブランドや美術・宝飾品など高額品も引き続き好調に推移したことなどから、大丸松坂屋百貨店合計では対前年 2.8%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同 2.6%増となった。なお大丸松坂屋百貨店、百貨店事業ともに13ヶ月連続で前年実績を上回った。

2) スーパーマーケット事業

- ・ピーコックストアは、首都圏店舗を中心に競争激化が続いたことに加え、閉鎖店舗（みさと店など計3店舗および1事業所）の影響もあり対前年 ▲7.4%減となった。地区別では、首都圏が対前年 ▲9.2%減、関西地区が同 ▲2.9%減、中部地区が同 ▲6.8%減であった。

3) その他

- ・卸売事業の大丸興業は、金属樹脂加工品などは好調であったが、食品、電子デバイスなどが不調であったことなどにより対前年 ▲17.8%減となった。
- ・クレジット事業のJFRカードは、加盟店手数料収入に加え、会員増に伴い年会費収入も好調であったことなどにより対前年 8.0%増となった。
- ・その他事業は、前年がJ.フロント建装の梅田店改装工事計上により対前々年 20.7%増となったことの反動でマイナスとなった。

お問合せ先	J.フロント リテイリング株式会社	グループ広報・IR担当
	TEL	03-6895-0178
	FAX	03-6674-7565

2012年4月度 百貨店事業 営業報告

1. 売上高および入店客数（対前年増減率：％）

	4月度		3～4月度累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	▲0.4	4.9	▲0.0	3.9
大丸 梅田店	1.9	▲6.4	14.0	11.2
大丸 東京店	15.3	18.7	31.9	29.7
大丸 ららぽーと横浜店	▲3.4	▲1.6	7.4	8.4
大丸 浦和パルコ店	2.1	4.9	11.0	15.3
大丸 京都店	4.2	1.5	3.1	2.0
大丸 山科店	▲3.7	▲4.3	▲3.5	▲4.3
大丸 神戸店	▲0.1	4.7	2.8	2.8
大丸 新長田店	▲1.2	▲3.1	▲1.8	▲4.5
大丸 須磨店	▲0.6	▲4.3	▲0.3	▲3.1
大丸 芦屋店	▲1.1	▲6.8	▲0.6	▲7.3
大丸 札幌店	2.6	1.5	6.2	2.1
松坂屋 名古屋店	0.9	36.3	2.0	22.7
松坂屋 上野店	10.8	4.4	19.8	13.3
松坂屋 静岡店	▲2.1	10.7	3.6	13.8
松坂屋 銀座店	11.1	29.6	18.4	42.5
松坂屋 高槻店	▲4.8	▲5.3	▲1.1	▲1.3
松坂屋 豊田店	3.5	▲0.4	4.5	3.3
大丸松坂屋百貨店合計	2.8	4.8	6.9	9.1
博多大丸	1.8	0.4	4.6	1.3
下関大丸	1.0	▲3.0	1.2	▲3.8
高知大丸	▲3.8	1.1	1.5	8.6
百貨店事業合計	2.6	-	6.4	-

（注）博多大丸および百貨店事業合計の前年は、博多大丸長崎店（2011年7月31日営業終了）を除く。

前年に博多大丸長崎店を含めた4月度の博多大丸合計は対前年▲7.7%減、百貨店事業合計は同1.8%増。3～4月度累計は、博多大丸合計同▲4.3%減、百貨店事業合計同5.7%増。

2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高（対前年増減率：％）

	4月度	3～4月度累計
紳士服・洋品	4.7	9.1
婦人服・洋品	5.2	10.2
子供服・洋品	0.7	3.0
その他の衣料品	7.7	5.1
衣料品計	4.9	9.2
身回品	1.7	3.0
化粧品	7.4	6.8
美術・宝飾・貴金属	5.9	9.3
その他雑貨	▲13.3	▲7.5
雑貨計	4.8	6.4
家具	▲10.9	▲11.0
家電	10.0	16.6
その他の家庭用品	3.8	9.0
家庭用品計	0.2	3.8
生鮮	▲1.6	0.0
菓子	▲0.2	8.7
惣菜	2.7	4.5
その他食料品	▲0.2	0.2
食料品計	0.3	4.2
食堂・喫茶	5.3	14.3
サービス	▲14.2	▲10.9
その他	▲3.8	7.2
合計	2.8	6.9

3. 売上高概況

婦人服・洋品は、気温の上昇に伴いブラウス、ワンピースや帽子など、春もの衣料や初夏アイテムが活発に動いたほか、ラグジュアリーブランドも好調に推移し、名古屋店の改装グランドオープン効果も寄与した。紳士服・洋品は、ジャケットやワイシャツなどのクールビス関連商品の出足がよかった。身回品は、婦人靴、ハンドバッグなど全般に好調であった。雑貨は、化粧品が伸びし、美術・宝飾は高級絵画、時計などのお得意様向け催事が盛況であった。食料品は、4月27日（金）改装オープンした神戸店が好調なスタートをきった。